

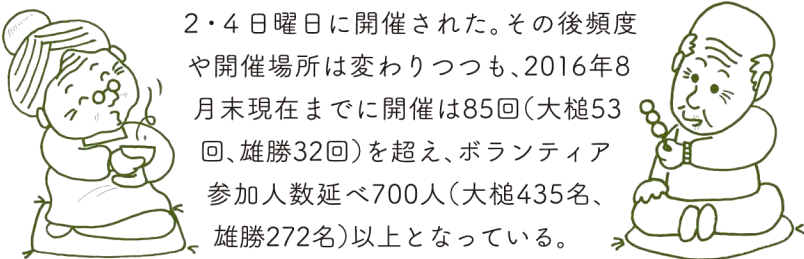


## お茶っこ広場とは……

東北地方に根づくコミュニケーション文化「お茶っこ」をモデルに、全国各地の銘菓とお茶を被災地に送り、被災者の皆さんに全国のお茶やお菓子を楽しまんでもらいながら交流の場を設ける取組みです。2011年9月から、これまでに80回以上開催し、現在でも仮設住宅に暮らす皆さんの大切な交流の場として継続しています。

## お茶っこのこれまで

2011年9月18日に、第1回お茶っこ広場が、岩手県大槌で開催。以後、年内には岩手では第3日曜日に、宮城県雄勝では第2・4日曜日に開催された。その後頻度や開催場所は変わりつつも、2016年8月末現在までに開催は85回(大槌53回、雄勝32回)を超え、ボランティア参加人数延べ700人(大槌435名、雄勝272名)以上となっている。



お話と折り紙と今日も和やかに



地元の方の指導の下、海の宝石「ウニ」を取り出し中!



「ごきげんリス」思わずにっこり



今日も楽しい話し声が響く会場



「さっくら(幸呼来)」と踊りの輪



お菓자에添えられたメッセージも嬉しい

### ボランティアの声

参加しやすいように、お茶やお菓子の並べ方など工夫します。



メッセージも喜ばれていて、じっくり読んでおられました!



雄勝ではよくみんなで歌を歌っています!



大槌では折り紙やクラフトを楽しまます!



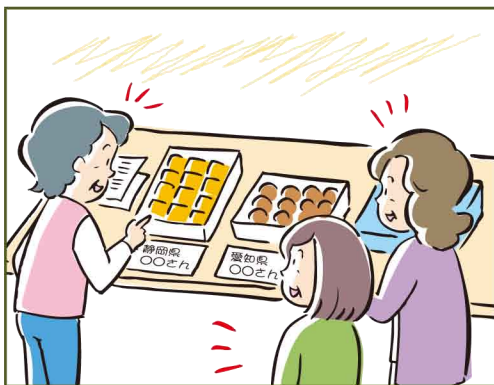
仮設にお住まいの皆さんから、逆に漬物や郷土料理などをごちそうしていただくこともしばしばです。



## お茶っこ広場の一日



会場に到着したら、早速のぼりを立てたりお茶菓子を並べて準備



送り主の都道府県とお名前、メッセージなどを見ながら、好きなお菓子を選んでいただきます



いろいろおしゃべりをしながらお菓子とお茶をいただいています。雄勝ではカラオケ、大槌ではクラフト等が人気



その時々季節、お菓子、おしゃべりをみんなで楽しむ会です

# 熊本地震支援活動



©2010熊本県くまモン#熊本支援

2016年4月の地震発生直後から、熊本県内のネイチャーゲームの仲間を中心に支援活動が始まりました。日本協会では会員に支援金募金の呼びかけを行い、これらの活動のサポートを行っています。本ページでは、これまでにやってきた支援活動と支援金活用の報告を掲載しています。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします!

## ① 避難所でのボランティア活動

避難所となった嘉島東小学校での支援活動は、避難所の室内清掃やトイレ掃除、お年寄りや子どもの話し相手、家屋の片付けや清掃、倒壊家屋の解体作業など。現在、避難者は全員仮設住宅へ移りましたが、新しい生活に慣れない方も多く、心のケアなどまだまだ多くのサポートが必要な状況です。ボランティア募集中。



## ② くまもとフォーキッズ(被災した親子の活動支援)

被災した子どもやその家族の心のケアを目指し、県内で子どもたちのための活動に取り組んできたグループや個人をメンバーに設立し活動しています。「森のようちえん」、キャンプなどを通し、安心して野遊び・自然遊びができる場と機会を提供しています。



## ③ シェアリングネイチャーカフェ「こびる」

「こびる」では、来られる方と一緒に豆を挽いて淹れるコーヒー、熱い釜炒り茶、低農薬無添加りんごジュース、さらには全国から送られてきたお菓子を提供してきました。お茶やお菓子を囲んでゆっくり休んだり、仲間との会話を楽しんだり……そんな、ほっと一息ついでいただける場になっているのではないかと思います。



## ④ 虫よけスプレースの製作と配布・販売(大分県協会)

支援金を受け、4回の準備集会で1,000本のアロマ虫よけスプレーを作成しました。熊本県シェアリングネイチャー協会を通して700本を被災者の方々に配布し、残りは次年度準備費用として販売しました。売上げ約9万円は、次年度の継続支援準備費用として活用していきます。



## ⑤ 南阿蘇自然と遊ぼうプロジェクト

ロープを使った木登り「ツリーイング」とネイチャーゲームを体験し、南阿蘇の子どもたちが地震という自然から受けた災害を乗り越え「自然の中で遊ぶ」ことで笑顔を取り戻すことを目的として、2016年7月23~24日に実施しました。笑顔と共に、人と人とのつながりも広がりました。



## 支援金活用報告



2016.4月 「一服一銭」(熊本県活動)へ、のぼりや書籍を提供	約1万円
2016.5月 「くまもとフォーキッズ」(熊本県活動)へ、オリジナルユニフォーム製作・提供	約18万円
2016.6月 南阿蘇自然と遊ぼうプロジェクト(熊本県活動)	20万円
アロマ虫よけスプレー製作・配布(大分県協会)	20万円
シェアリングネイチャーカフェこびる(熊本県協会)	20万円

熊本地震では、避難所から仮設住宅への引っ越しが始まっていますが、不安を抱える毎日が続いており、さらなる心の支援が必要です。被災地に心を寄せる支援活動の継続に、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 福島県

## 福島の子どもの自然体験サポート ココカラ子ども大学

2014年~2015年の2年間、福島から母子避難している子どもたちの自然体験活動のプログラム企画・活動支援を行いました。現在は、NPO法人ココロとカラダを育むハッピープロジェクトが主体的に企画・実施をスタートさせており、日本協会としての支援は行っていませんが、リーダー個人として直接関わっていただける方はぜひご連絡下さい。

tunagarou@naturegame.or.jp